

対象火気器具等を使用する 露店や屋台などを開設する方へ

露店や屋台で事故が発生すると、甚大な被害が発生することが危惧されます。イベントを楽しく行うためには、参加者の「安全」が大前提です。対象火気器具を使用する露店等には、以下の防火安全対策を行って下さい。

① 火災予防上安全な距離をとりましょう

- 火気器具等は、建築物や可燃物から火災予防上安全な距離を保つ。
※ガスコンロの場合15cm
- 火気器具等の周囲は、整理、清掃し、燃料などその他の可燃物を放置しない。
- 可燃物で風よけを作らない。

② 安定した場所で使用しましょう

- 安定した不燃性の床、台又は板（金属製のものを除く）の上で使用する。

③ ガスホースは大丈夫？

- ガスホースは、器具との接続部分をホースバンド等で締め付ける。
- ひび割れや亀裂等がないか使用前に点検する。

④ LPガスボンベは固定しましょう

- ボンベは直射日光及び火気等の近くを避ける。
- 人がみだりに近づかない安全な場所に置く。
- 倒れないように固定物に固定し横置きをしない。

⑤ 消火器を設置しましょう

- 火気器具等を使用する露店等には、消火器を1個以上置く。
- 消火器は、10型の粉末消火器を設置する。



ガソリンの取扱い

- 発電機などは、事前に燃料を給油し、露店等の開設後に給油の必要がないようにして下さい。
- 発電機などに給油する場合は、エンジンを停止して下さい。
- 携行缶は、近くに人や火気がない安全な場所で、開口前のエア抜き（圧力調整ネジの操作など）をして取扱いには注意して下さい。
- 特に夏季は、ガソリンの温度が上がってガソリンの蒸気圧が高くなる可能性があるため吹きこぼしが起こらないように注意して下さい。